

様式第1号

会議録

会議の名称	令和7年度第3回所沢市高齢者福祉計画推進会議												
開催日時	令和7年11月20日（木）午後3時30分から午後5時00分												
開催場所	所沢市役所本庁舎8階大会議室												
出席者の氏名	今城委員、小野委員、川口委員、岡田委員、川野委員、米川委員、吉田委員、齋藤委員、渡邊委員、神藤委員、由井委員、板倉委員、辻 委員、藤澤委員、田中委員、栗屋委員												
欠席者の氏名	大島委員、山田委員、山下委員												
議題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 所沢市高齢者福祉・介護実態調査について (2) 地域包括支援センターの運営状況について (3) 地域包括支援センターの事業評価について (4) 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度上半期実績について (5) 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和7年度上半期進捗評価について (6) 報告事項等 												
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議次第 (2) 資料1 所沢市高齢者福祉・介護実態調査について (3) 資料2 地域包括支援センターの運営状況について (4) 資料3 地域包括支援センターの事業評価について (5) 資料4 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度上半期実績について (6) 資料5 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和7年度上半期進捗評価について (7) 資料6 報告事項等 												
担当部課名	<table> <tr> <td>福祉部</td> <td>越智部長、大館次長</td> </tr> <tr> <td>高齢者支援課</td> <td>溝井課長、橋本主幹、日下部副主幹、中村主査、森田主査、小原主査</td> </tr> <tr> <td>介護保険課</td> <td>田中介護保険担当参事、肥沼副主幹、今泉主査、山田主査、荒幡主査、東主査</td> </tr> <tr> <td>健康推進部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健医療課</td> <td>中山課長</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険課</td> <td>遠藤課長</td> </tr> </table>	福祉部	越智部長、大館次長	高齢者支援課	溝井課長、橋本主幹、日下部副主幹、中村主査、森田主査、小原主査	介護保険課	田中介護保険担当参事、肥沼副主幹、今泉主査、山田主査、荒幡主査、東主査	健康推進部		保健医療課	中山課長	国民健康保険課	遠藤課長
福祉部	越智部長、大館次長												
高齢者支援課	溝井課長、橋本主幹、日下部副主幹、中村主査、森田主査、小原主査												
介護保険課	田中介護保険担当参事、肥沼副主幹、今泉主査、山田主査、荒幡主査、東主査												
健康推進部													
保健医療課	中山課長												
国民健康保険課	遠藤課長												

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none">・会議は全て公開することを確認・議事録の作成方法について、要約方式、委員名無記名とし、委員長の承認により確定することを確認・傍聴人無し
	<p><u>議題（1）所沢市高齢者福祉・介護実態調査について</u></p>
事務局	<p>資料1に基づき、所沢市高齢者福祉・介護実態調査について説明を行う。</p>
委員	<p>別添1の【◆からだを動かすことについて　問12-1】と別添2の【◆からだを動かすことについて　問6-1】について、外出をする際の主な行き先の選択肢として、「病院、診療所、薬局、歯科診療所」となっているが、行政文書などの公文書では、歯科診療所は診療所の中の1つとして解釈されるため、診療所の次に歯科診療所という並び順の方が良いと思う。</p> <p>また、別添2の【主に介護している方の生活状況について　問5】の選択肢についても、公文書としては「医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士」という並び順が一般的かと思うので、順番をご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>御指摘いただいた内容で修正させていただく。</p>
委員	<p>資料1のNo.4について、「対応内容等」の中で、「一般施策であることから、広く一般の方に尋ねることが必要と考えている。」との記載があるが、別添1の【◆市の施策・事業、介護保険制度について　問7-3】と別添2の【◆市の施策・事業、介護保険制度について　問1-4】については、65歳以上の方を対象にした調査であるため、対象者を限定しており、調査対象者が広</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>く一般の方ではない。この記載は、今後も資料として残るものなので、再考してはどうか。</p> <p>御指摘を踏まえて検討させていただき、修正する場合は、本会議資料を市民の方の閲覧に供する資料として市政情報センターへ提出する際に、記載内容を修正して提出させていただく。</p>
	<p><u>議題（2）地域包括支援センターの運営状況について</u></p>
事務局	<p>資料2に基づき、地域包括支援センターの運営状況について説明を行う。</p>
委員	<p>地域包括支援センターのケアマネジャーなど、今まで辞められる方があまりいないイメージだったが、最近になって辞める方が増えてきている気がする。そのため、市において、地域包括支援センターの仕事を魅力あるものにしていってほしい。</p> <p>また、各地区の自治連合会の交流会が川崎市にて開催されたため参加したが、そこで、川崎市の麻生区が厚生労働省の調査で、平均寿命が日本一長寿という結果が出たことがあるとの話を聞いた。その要因は、こどもや大人関係なく、みんなで地域を支えていこうという気持ちが強いからだと感じた。</p> <p>資料にある職員数一覧でも、松井東と三ヶ島第1地域包括支援センターでは、配置状況に「×」が付いているなど、ケアマネジャーは難しい仕事で誰でもできるものではないため、地域で支え合っていくことで、地域包括支援センターの職員が楽しく仕事ができるような環境を目指していってほしい。</p>
事務局	<p>松井東地域包括支援センターについては、令和7年4月から保健師の欠員が生じていたが、11月に保健師が配置されて欠員が解消されたことを補足させていただく。</p> <p>なお、三ヶ島第1地域包括支援センターについては、主任介護支援専門員の欠員が生じているが、委託している法人においても</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	広報活動や雇用条件の改善等取り組んでいるところであるため、法人と連携しながら欠員の解消に向けて努めていきたい。 【（1）訪問相談等】について、総合相談支援件数が各地域で軒並み増加しているとのことだが、その理由についてどのように考えているか。
事務局	高齢者数の増加は当然のこと、地域包括支援センターの職員が地域の方々から様々な地域課題などの情報を得て、訪問相談を実施してくれているからこそ、この件数になっていると考えている
<u>議題（3）地域包括支援センターの事業評価について</u>	
事務局	資料3に基づき、地域包括支援センターの事業評価について説明を行う。
委員	業務チェックシートについて、事業評価が「0%」の項目が5項目あるが、全国共通の項目であるため、全て欠かせないものではないのか。 また、未達成項目の改善に向けた方針を盛り込むことを考えていくとの記載があるが、この5項目についてどのように考えているのか。
事務局	まず、「0%」の項目が5つある点について、【Q20 センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知していますか。（今年4月時点）】については、委託先の法人と取り交わす仕様書に「統括責任者となるセンター長」というかたちで明記しているが、センター長の詳細な役割までは明記していないため、「0%」となっている。 また、国の評価指標では、専門職のチームアプローチという点を評価するよう求めているため、今後、センター長の役割をどう文書で示していくかは検討していきたい。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	他の「0%」の項目については、本指標は国が地域包括支援センターの業務成果の1つの判断材料としてはどうかというかたちで示しているものであるため、現状は当市の指標として存在していないが、今後、指標としていくか否かは検討したい。
委員	今回は、いつも全国との比較をしているレーダーチャートがないとのことだが、大体、例年と同じような傾向なのか。
事務局	近隣市との比較もできていないため、お答えしかねるが、次年度はレーダーチャートを用いて、比較した結果をお示しできるようにしたい。
<u>議題（4）第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度上半期実績について</u>	
事務局	資料4に基づき、第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度上半期実績について説明を行う。
委員	<p>最近、地域密着型サービス事業所が次々と増えており、執行率も高く利用者もいると思うが、飽和状態だと感じている。</p> <p>また、新設の施設は、本会議で報告をいただいているが、廃止する施設に関する報告はない中で、今年、小規模多機能型居宅介護が1施設廃止になっており、もう1施設廃止予定の小規模多機能型居宅介護があるという話も聞いている。</p> <p>実際に、介護サービスの量について、小規模多機能型居宅介護の執行率は、18.38%と低く、その原因は受け皿がないからなのか、需要がないからなのか。中には、需要はあるが人員体制や介護報酬などの厳しい制度が原因で従事者が疲弊し、需要があるのに廃止せざるを得ない事業所もあると思う。</p> <p>そのため、廃止する事業所も報告いただかないと、実際の数、整備したい施設数と需要があるのかが見えてこない。廃止せざる</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>を得ない理由に応じた手立てがないと、そのサービス自体が成り立たない状態となってしまう。</p> <p>実際に、昨年度よりも小規模多機能型居宅介護の執行率が低いのは、計画値を見誤っており、需要がないから低いのか、需要があるのにそれに応えられていないのかといった原因の解析や小規模多機能型居宅介護を実施してもらうよう声掛けはしなくていいのか。</p> <p>また、地域密着型サービスの方が埼玉県との手続が不要で楽だが、次々と新設してしまって、新設を止めるなど需要と供給のバランスを調整しなくとも大丈夫なのか。今ある施設を減らすということではなく、最近の地域密着型サービス事業所が乱立している状況について、ただ許可するだけでなく、計画として適正な施設数なのかを考えているのか。</p> <p>施設の充足率等については、来年度、第10期計画を作成する際に、振り返りをする予定である。</p> <p>充足率等を確認する手段として、所沢市高齢者福祉・介護実態調査も活用していきたい。</p> <p>実際、今月末で小規模多機能型居宅介護が1施設廃止となり、残り6事業所になる。また、当市に直接、事業所からの声は届いておらず、サービス利用者から、サービスを利用したいが利用できる施設が少なく利用できないといった声も届いていないため、需要の把握が難しいところである。</p> <p>介護サービスの量について、地域密着型サービスのうち夜間対応型訪問介護について、このサービスは需要が全くないのかお聞きしたい。</p> <p>現状無いものと考えている。</p> <p>2040年には、団塊の世代ジュニアが65歳を迎える、団塊の世代が75歳以上になり、超高齢社会を迎えることになる。所沢市民の3分の1以上が65歳以上になるため、夜間対応の需要が</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>増えると予想するが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護に統合してしまって本当にいいのか。</p>
委員	<p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護と夜間対応型訪問介護は、役割が重複していることに加え、夜間対応型訪問介護は人員の手配が難しさや利益率が低いなどの問題があり、新規に参入する事業所も全国的に少ないようである。そういった点や今後の高齢者人口の増加とのバランスも見ながら、国が制度設計しているものである。</p>
事務局	<p>先ほど、事業所から声が届いていないとの話があったが、地域密着型サービス事業所については、運営推進会議の開催が求められている。事業所の数が多いところではあるが、ここ長いこと市の職員に当法人の会議に参加いただいている。過去には、よく来ていただいたこともあった。要介護認定を受けている方や認知症の方が窓口に直接来ることはない中で、本会議では、サービスの質の良し悪しや利用者家族の意見、建物の環境、苦労している点などが、話として出ていると思う。</p> <p>また、運営推進会議を開催していない施設もいくつかあると思われるため、本会議の開催を各施設に求めるとともに、市の職員が会議に出向くことで、第10期計画策定に向けて実情を聞き取ってはどうか。</p> <p>実際に、会議に参加している方から、「市の職員は来ないのか」言われることもあるため、地域密着型のサービスであるからこそ、交代制などで参加していただきたい。</p> <p>このように、施設から声が届かないというのではなく、声を拾う機会があることも知っていただきたい。</p> <p>限りある人材の中で調整して、可能な限り参加していきたい。</p> <p><u>議題（5）第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和7年度上半期進捗評価について</u></p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>資料5に基づき、第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和7年度上半期進捗評価について説明を行う。</p>
委員	<p>「要介護認定の適正化」の指標が「点検実施率」で、実施率が100%のことだが、件数にすると何件なのか。</p> <p>そして、点検の結果、問題があった件数が何件なのか、問題があったものについて、どのような対応をしたのかのかも併せて知りたい。</p> <p>また、「ケアプラン等の点検」と「医療情報との突合・縦覧点検」についても同様に、点検の結果、問題があった件数と問題があったものについてどのような対応をしたのか知りたい。</p>
事務局	<p>まず、「要介護認定の適正化」について、今年の4月から9月までの申請件数は、7,305件である。</p> <p>また、調査票の点検を委託するにあたって、研修を設けるなどして、調査の質を上げられるよう努めている。</p> <p>点検の結果、問題があるものはなかった。</p> <p>次に、「ケアプラン等の点検」のうち事業所の点検については、実際に事業所に出向いて事業所の職員と一緒に点検をしているため、点検したケアプランに問題があるか否かを確認するというよりは、点検を通して、事業所へこのようにした方が良いなどのアドバイスを通知として事業所へ送っているものである。</p> <p>そして、住宅改修及び福祉用具購入の点検については、福祉用具の購入にあたって、販売事業所から事前に相談があった利用者の自宅に出向いて、お体の状況の確認や、今回の点検は、入浴補助の福祉用具の点検だったため、浴室の様子を見させていただいた。その結果、適正であると判断し、問題はなかった。</p> <p>最後に、「医療情報との突合・縦覧点検」については、実際に点検しているのは、点検を委託している「埼玉県国民健康保険団体連合会」であり、間違っている可能性がある事業所に対して、その旨を各事業所に連絡している。事業所は連絡があった部分について確認をして、間違っている旨を埼玉県国民健康保険団体連</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>合会へ連絡することとなっている。そのため、実際に間違いがあったものが何件かは、当市では把握していない。</p>
委員	<p>「<住民主体の地域の通いの場（1）～（2）の目標 その1>」について、お達者倶楽部の団体数が2団体増加したことだが、住民主体の通いの場は増えるどころか減る一方だと思うので、その中で2団体増加したのは良いことだと思う。</p> <p>そこで、指導者育成の問題や場所の問題等がある中で、団体数が増加した要因は何か。所沢は地域活動が活発で助け合いの精神があると思っているので、要因があれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>元気アップ大調査の結果送付の際の団体に関する資料の同封、また、先日実施したお達者倶楽部として登録している団体による市民ホールでの活動報告会を通して、市民の方に団体に参加したい、団体を立ち上げたいと思っていただけたのではないかと思う。担当としても通いの場を増やすことが課題だと感じている中で、こうした地道な広報等に力を入れた成果が数字として表ってきたのだと思う。</p>
<u>議題（6）報告事項等</u>	<p>事務局 資料6に基づき、第9期計画における地域密着型サービスの整備について報告を行う。</p> <p style="text-align: center;">（質疑応答なし）</p> <p>事務局 令和7年度所沢市表彰における委員の表彰について報告。</p> <p style="text-align: center;">（質疑応答なし）</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>